



平成28年度総会・懇親会(7月16日) 甲山農村環境改善センター  
 ～あの頃ありて今がある。ふるさと世羅に集う232名!～

# 世羅高 同窓会報

発行  
 広島県立世羅高等学校  
 同窓会  
 世羅郡世羅町本郷870番地



## 同窓会長就任挨拶



同窓会長 松浦 邦夫  
 (昭和45年卒)

山々が深い緑に覆われ、世羅台地に今年も暑い夏がやってきました。  
 同窓会会員並びに地域の皆様におかれましては、ご健勝にて日々活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、昭和四十五年卒業生の松浦邦夫でございます。この度、小島敏文前会長の後を受け、広島県立世羅高等学校同窓会会長を務めさせていただくことになりました。今日まで歴代会長をはじめ、多くの役員の皆様、同窓生並びに地域の皆様のご尽力によって築かれました本会の歴史と伝統を振り返りますとき、その職責の重さに身の引き締まる思いがいたしております。微

力ではございますが、同窓会の充実発展に向けて誠心誠意努力して参る所存でございます。皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、平成二十九年同窓会総会の開催に際し、一言ご挨拶申し上げます。

今年度も当番幹事の皆様はじめ関係者の皆様方のお力添えにより、同窓会総会を盛大に開くことができました。深く感謝申し上げます。

ご承知のとおり、世羅高等学校は昨年九月に創立一二〇周年記念行事を成功裏に終え、校史に新たな一步を記すことが出来ました。また、新時代到来を象徴するかのような新校舎の落成は、我々同窓生にとりましても喜ばしい出来事でございます。

一方で、近年における少子化や過疎化の著しい進行により、生徒確保等の課題も生まれ、学校を取り巻く環境は決して生易しいものではありません。また、同窓会におきましても、財政基盤の確立、情報発信のあり方等、いくつかの課題を抱えていることも事実でございます。

この様な背景の中、時代の趨勢や社会の動向なども見据えながら、同窓会本来の目的であります「会員相互の交流と親睦の充実」並びに「世羅高等学校教育活動の支援」の達成に向け、

同窓会が積極的に活動し、機能を発揮していく必要があります。同窓生の皆様方、地域の皆様方と心を一つにし、難局を乗り切つて参りたいと考えております。

最後になりましたが、今日まで公務ご多用の中、長きにわたる同窓会長としてご尽力くださいました小島敏文前会長に対しまして、心から敬意を表し、深く感謝申し上げますとともに、同窓会会員並びに地域の皆様のご健勝と今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

## 同窓会長退任挨拶



前同窓会長 小島 敏文  
 (昭和44年卒)

同窓会会員並びに地域の皆様方におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、今年役員改選の年でもあります。私は一昨年末同窓会長退任願いを提出させて頂いておりましたが、役員の皆様から今期は続けるようにとのお話があり、お言葉に甘えて今春まで

会長の任を続けさせて頂いておりました。過日の常任理事会に於いて新規約に基づき退任をご了解頂きました。

振り返りますと、故坂口昇前会長よりバトンを受け継ぎ今日まで様々な出来事がございました。特に思い出されることは、

故石川敏浩校長先生の事件であります。全国の同窓会員から世羅高校の現状についての問い合わせや意見が相次ぎました。そこで同窓会として会報を作ることを申し合わせ、年一回発行を続けてまいりました。これにより世羅高校の現状を広く知って戴くことが出来るようになったのであります。又事件以来どのようなにして世羅高校を甦らせれば良いのか悩んだこともありました。幸い世羅高校には陸上競技という長年積み重ねてきた財産があります。まず第一歩として陸上競技部の活躍を起爆剤とすべく取り組むこととしたのであります。田邊康嗣校長先生と共に在東京ケニア大使館に赴き世羅高校との交流を打診しケニア人留学生受入れが実現しました。又旧世羅中学校卒業生で作る台湾同学会の陳恒成先輩(元

中華民国国会議員)のご尽力により、台湾大同高級中学校との姉妹校縁組みも出来交流が続いています。更に本校卒業生でアメリカンドリームを実現された

中村敏雄先輩との縁で、有志の方々のご努力もありアメリカ・ニューヨーク州のソーントン・ドノバン校との交流など、地方にある高校ながらグローバル社会を先取りした取り組みも行われています。

同窓会総会も瀬尾圭三同窓会副会長を中心に役員の皆様・当番幹事の皆様のご努力により、年々活発な総会となりました。現在の本校の状況は、新たな教育を創造するための「学びの

変革」パイロットハイスクールに指定され、陸上競技部は「競技力向上拠点校」指定を受けたと聞いております。生徒が減少する中、普通科・農業経営科・生活福祉科いずれも、これらも必要とされる学科を持つ総合高校として発展することを願っています。学校ご当局の一層の奮起をお願い申し上げます。

一昨年末の全国高校駅伝競走大会の男女同時優勝をもって世羅高等学校復活の一里塚となつたと考えております。

松浦邦夫新同窓会長ののもと、新たな同窓会のご発展を願っています。今日までの歴代校長先生をはじめ教職員の皆様・同窓会役員の皆様・地域の皆様のご支援ご協力で心から感謝申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

輝かしい歴史と伝統ある世羅高等学校で三年目に入りました。よろしく願います。

同窓会並びに地域の皆様には、平素から本校教育活動に多大なる御理解と御支援を賜り心からお礼申し上げます。

本校は、明治二十九年千葉三郎先生が世羅の地に私立学校甲西会を設立され、翌年多田ミチ先生が甲山の地に私立裁縫所を開設されて以来、名称変更、学制改革による統合、学科の改編など幾多の変遷を経て、今年で学校創立一二十年という輝かしい歴史を刻むに至りました。過去一世紀以上にわたり、二万三千名を超える優秀な同窓生の皆様、国内をはじめとした世界各地で活躍され「世羅高ブランド」の名を揺るぎなきものとしていただきました。各界で御活躍なさっている同窓生の皆様に敬意を表するとともにその功績に心から感謝いたします。

また、昨年九月二十四日には

「学校創立百二十周年記念式典」及び「広島交響楽団鑑賞会」を、同窓生の皆様をはじめとした、本校と縁の深い多くの皆様の御列席の下、厳粛かつ盛大に開催することもできました。「記念行事」開催に当たり中心となつて企画・運営いただいた実行委員の皆様をはじめ、御寄附いただいた多くの同窓生並びに地域の皆様には重ねて感謝いたします。

### 地域に支えられた 人間教育の実践



校長 堀 健太郎

本校は、明治二十九年千葉三郎先生が世羅の地に私立学校甲西会を設立され、翌年多田ミチ先生が甲山の地に私立裁縫所を開設されて以来、名称変更、学制改革による統合、学科の改編など幾多の変遷を経て、今年で学校創立一二十年という輝かしい歴史を刻むに至りました。過去一世紀以上にわたり、二万三千名を超える優秀な同窓生の皆様、国内をはじめとした世界各地で活躍され「世羅高ブランド」の名を揺るぎなきものとしていただきました。各界で御活躍なさっている同窓生の皆様に敬意を表するとともにその功績に心から感謝いたします。

また、昨年九月二十四日には

「学校創立百二十周年記念式典」及び「広島交響楽団鑑賞会」を、同窓生の皆様をはじめとした、本校と縁の深い多くの皆様の御列席の下、厳粛かつ盛大に開催することもできました。「記念行事」開催に当たり中心となつて企画・運営いただいた実行委員の皆様をはじめ、御寄附いただいた多くの同窓生並びに地域の皆様には重ねて感謝いたします。

本校は、明治二十九年千葉三郎先生が世羅の地に私立学校甲西会を設立され、翌年多田ミチ先生が甲山の地に私立裁縫所を開設されて以来、名称変更、学制改革による統合、学科の改編など幾多の変遷を経て、今年で学校創立一二十年という輝かしい歴史を刻むに至りました。過去一世紀以上にわたり、二万三千名を超える優秀な同窓生の皆様、国内をはじめとした世界各地で活躍され「世羅高ブランド」の名を揺るぎなきものとしていただきました。各界で御活躍なさっている同窓生の皆様に敬意を表するとともにその功績に心から感謝いたします。

手造りのおもてなし  
法事・慶弔料理・仕出し・宴会の予約承ります

ファミリーレストラン

# タイニー

世羅郡世羅町西上原483-3  
TEL(0847)22-0322 FAX(0847)22-0405  
http://www.fr-tiny.co.jp/

OA 機器・オフィス家具・事務用品  
教材教具・教科書・学用品

## (株)森田尚文館

TEL(0847)22-0136  
FAX(0847)22-3051  
広島県世羅郡世羅町西上原 535-1

れています。

これは本校が世羅台地を中心とした「チーム世羅」の皆様を支えられ、日本一の生徒を育成できる教育活動を実践させていた、だいたいの証でもあります。

これからはすべての生徒が将来に向けて主体的に考え行動し、大きく社会貢献できる人材に成長できるよう「TOPRUN世羅」を合言葉に教職員一同全身全霊で人間教育を実践してまいります。

同窓生並びに地域の皆様におかれましては今後とも本校の更なる発展のために御支援・御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

### 平成二十八年度 同窓会総会を終えて



当番幹事長  
玉浦 洋明

(昭和49年卒)

昨年は昭和49年・59年卒業生が中心になり総会を担当させて頂きました。多くの同窓生の協力のおかげがあればこそ感謝申し上げます。今回同級生と同窓会総会を力を合わせ実施して思ったことは、この活動を通じて

て団結し交流できたことです。準備は大変なこともあります。行事開催の中で通じ合えたことが私自身大きな喜びでした。どうかこれから幹事をされる皆さんも体験してみてください。幸いです。

#### ◎同窓会の歴史

私は同窓会へ約三十年前から参加させて頂いております。当時の会長は坂口昇さん、その後小島敏文さん、そして今回松浦邦夫さんに引継がれました。昔の同窓会は、お盆明けの十七、十八日ごろの日曜日「玉乃家」の大広間で開催されました。恒例の総会へ出られた瀬尾副会長が、参加人数も少なくなった同窓会を見られ、同窓会を変えないといけないとの提案で当番幹事を決め今の型になりました。

初回幹事長、前さんを始め当時の方は大変であつたらうと今回感じました。二百人余りの参加は対応するのも大変ですが、励みにもなります。この同窓会総会の中で交流し合い、地域や全国各地で大きなつながりになればと思います。

#### ◎世羅高への思い

世羅高へ近年少子化で生徒の減少が続いています。これから同窓会も地域や学校と連携して、一人でも多く世羅高へ入学していただける活動が出来ればと思います。その為には地域と世羅

高校、教職員の皆さんとの交流を深め、知り合い、わかり合える関係をつくることが一歩と思えます。

#### ◎世羅高への夢

最後になりますが、世羅高から四年後の東京オリンピックに出場選手実現が夢です。世羅高出身でたくさんの陸上選手、今頑張っている中から生まれればと思います。出場することは簡単ではありませんが実現出来ればと思っております。

終わりに昨年のご参加、ご協力に感謝し、今年も多数の参加を願っております。

### 創立百二十周年を 終えて



世羅高校創立百二十周年記念事業  
実行委員会 実行委員長  
同窓会副会長 瀬尾 圭三

(昭和36年卒)

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年の同窓会「総会・懇親会」は七月八日に開催です。今年には同窓会改革七年目になります。同窓会はまだまだ様々な課題があり発展途上ではあります。これまで過去六年間「総

会・懇親会」は当番幹事の皆さんのご尽力により準備・運営等ある程度体制が構築できたと思えます。課題に取組みながら、総会・懇親会が今後一層盛大になることを願っています。

母校世羅高校は、昨年九月二十二日(木)創立百二十年を迎え、九月二十四日(土)に創立百二十周年記念事業を行いました。これまでの百二十年に及ぶ母校の発展は、歴代の学校長をはじめ学校関係者、同窓会先輩諸氏のご尽力、そして地域の皆様方の温かいご支援、ご協力の賜物であり、改めて敬意を表する次第です。

創立百二十年を迎えるにあたり、同窓会・学校・PTA三者が一体となつて、百二十周年を記念すべき年にしなければならぬとの申し合せで、「世羅高校創立百二十周年記念事業実行委員会」を平成二十六年十二月に設置し、四つの専門委員会を設け記念事業に取組んでまいりました。各委員会は二年間で十五〜二十数回の会議を行いました。実行委員会の組織、事業内容は昨年の同窓会報で報告しましたので、今年度は各専門委員会でご報告させていただきます。記念式典・祝賀会専門委員会は「記念式典及び広島交響楽団記念演奏会」に取組みました。

**進物の玉浦**  
 ☎0847-22-1107  
 FAX.0847-22-1567

〒722-1121  
 世羅郡世羅町西上原612-2  
 営業時間/AM8:00~PM7:00  
 年中無休

記念写真・証明写真・空撮  
 カラープリントスピード仕上げ

**Hashimoto 橋本写真館**

世羅郡世羅町東神崎 355-4 TEL(0847)22-0157  
<http://www.hashimoto-photo.jp/> または **世羅 橋本写真館** 検索

「記念式典」は、広島県議会議員の皆様、世羅町長及び町議会議関係の皆様、尾三地区校長協会の皆様、世羅高校に在学する出身中学校校長先生方、地域の事業主様等々多くのご来賓の皆様方のご臨席のもと厳粛且つ盛大に挙行することが出来ました。在校生も一生のよき思い出になったものと思います。



「広島交響楽団記念演奏会」は、せら文化センターバストラルホールで行いました。地域の皆様も多数ご来場いただき、在校生、学校関係者並びに地域の皆様が団員と一つに溶け込み、オーケストラ演奏の素晴らしさを満喫していただきました。地域の皆様の交響楽団演奏に対する関心の高さに改めて感激しま

した。「祝賀会」は、平成二十八年度同窓会総会・懇親会と兼ねて行えば、記念式典ならびに諸行事へ多くの卒業生のご参加が期待できることから実施を計画しましたが、実現できませんでした。

記念誌専門委員会では「創立百二十周年記念誌」発刊に取組みました。世羅高校の記念誌は、平成八年（一九九六年）に「創立百周年記念誌」が初めて発刊され、四年という長期間にわたる取組をされ、大変な作業であったと思います。

「創立百二十周年記念誌」は、創立百年以降二十年間を振り返り「沿革」「教育実践」「クラブ活動」等のトピックス、「卒業生の思い出の記」「資料編」等々で構成しました。記念誌をとおして、在校生、卒業生、教職員、地域の皆様をはじめご支援いただく多くの皆様方と絆が一層深まればこの上ない喜びとするところであります。なお、記念誌が若干残っております。ご希望の方には頒布いたします。ご注文は世羅高校事務室で受け付けております。

記念事業専門委員会は新校舎玄閣上部へ校章・校名の設置、記念品クリアーファイルを制作いたしました。募金活動専門委員会は記念事

業を行う資金獲得のため募金活動に取り組みました。同窓会はこのままで周年行事のための長期的計画が未確立のため、卒業生の皆様、地域の皆様へ浄財をお願いいたしました。特に事業主の皆様をはじめ地域の皆様には多大なご協力を賜りまして、厚く御礼を申し上げますとともに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、我が国は現在、急激な少子化、高齢化の中にあり、二千三十年には、六十五歳以上の割合は総人口の三分の一に達し、生産年齢人口は総人口の約五十八%にまで減少すると言われております。人口、経済、地域社会の大きな諸問題に日本全体が取り組まなければならないかもしれません。また、グローバル化や情報化が進展する社会の中で、先を見通すことが極めて困難になり、都市化や過疎化の進行、家族形態の変容等々急速な社会の変化は、学校と地域社会とのつながりが希薄化し「地域の学校、地域で子供を育てる」という考え方が失われております。

このような厳しい時代に立ち向かっていくためには「地域から信頼される学校づくり、社会的な教育基盤の構築」等の観点から学校と地域はパートナーとして相互に連携・協働した教育を

実現しなければならぬ時代になってまいりました。

このような諸問題への取組みが喫緊の課題となっている今日、世羅町は「町の将来を担う人材育成の観点から、世羅高校を後押ししていただき、心から感謝申し上げる次第です。このように地域の温かいご支援のもと、「在校生・保護者・教職員・同窓生が誇れる世羅高校」、そして「地域の皆様が誇れる世羅高校」を確立していかなければならないと決意を新たにしております。

終わりに同窓生並びに地域の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

同窓生だより

「普通」はヤバイ? ビミョウ?



川本 光夫 (昭和37年卒)

普通科同期の集いが二年ごと続いています。世羅・広島市・関西地区で幹事を持ち回っていましたが、今年五月は久しぶりに世羅での開催でした。宿から歩いて母校

スーパーマーケット

# 三谷屋

御調店・大和店・パオ店

株式会社 じつとく 實徳コーポレーション

〔総合警備保障事業〕  
TEL (0847) 25-5271

株式会社 JT C

〔人材派遣事業〕  
TEL (0847) 22-0500

〒729-3302 広島県世羅郡世羅町川尻1288-1  
FAX (0847) 25-5272 (共通)

を訪ねると、モダンなデザインの  
新校舎のそばに見覚えのある講堂  
が残っていて、ここで「夕鶴」を  
演じたり、フォークダンスをした  
り卒業式の答辞を読ませてもらっ  
たことなど、懐かしい青春時代を  
思い出しました。クラス会で見  
顔は五十五年たっても当時のまま  
です。

六年前は、同級生がやっている  
相撲博物館や、ふじ園を訪れた  
り、新制作協会の審査員にもなっ  
た画家にアトリエを見せてもらっ  
たり、故郷での楽しい時間を過ご  
しました。その時も感じたのは、  
世羅台地で展開されている農業科  
の卒業生の底力です。農業衰退が  
叫ばれている昨今、世羅高農業  
(農業経営)科の存在に意義ある  
のは明らかです。

ところで普通科は、地元で十分  
貢献出来ている?やばくない?  
私の父は世羅高の前身「世羅郡  
立高等補修学校」の三回生で、子  
ども五人(姉兄弟)全員世羅高の  
普通科を卒業して、公立大学に進  
学し、地元を離れ新潟・大阪・日  
立・東京などで働いてきました。  
自慢話ですが、博士3/修士2名  
で、大学・高校・企業内教育など  
に関わってきました。時々「きよ  
うだいの会」と称して、伴侶とも集  
まって交流していますが、そこで  
は世羅高でお世話になった共通の  
先生方がよく話題になります。  
今回のクラス会で同級生のうち

二十名近くが母校も含む教師に  
なったことを知り、普通科は地元  
の教育に人づくりには大きな貢献を  
していると感じられました。

家政科(生活福祉科)は、よき  
家庭作りへの貢献度が大きいで  
しょう。普通科、農業科、家政科  
がみんなで今の幸せな世羅台地を  
作ってきたと確信した今回のクラ  
ス会でした。幹事さんありがとう。

ところで「普通科」とは不思議  
なネーミングですね。戦後の教育  
制度改革で、新制高校に工業・商  
業・農業・家政などの専門教育に  
対して、普遍的に広く通用する教  
育を目指すものとして普通科が制  
定されたのだそうです。

当時は普通教育、普通選挙とい  
われるように「普通」はかつて、  
身分による限定を外すものとし  
て、とてもまぶしいことばだっ  
た。それがいつの頃からか、等し  
なみのもの、これといった特徴の  
ない凡庸なものという意味へと裏  
返ってしまった。(朝日新聞:  
折々のことば より引用)

陸上自衛隊ではまだ「普通科」  
が活躍していますが、高校の「普  
通科」に代わるいい名前はないも  
のでしょうか。「普通」が今後、  
往時の輝かしい清新なイメージを  
取り戻せるかはビミョウです。今  
の若者は、フツーを肯定的にもや  
や否定的にも使っています。現役  
の世羅高生に聞いてみたいもので

世羅高校での思い出



西原 淳  
(平成8年卒)

平成五年四月、環境科学科の  
一期生として広島県立世羅高等  
学校に入学しました。と同時に、  
伝統ある陸上競技部へ入部しま  
した。

私は中学時代サッカー部に所  
属しており、引退後なんとなく  
走り始めたことで、本当に失礼  
ながら軽い気持ちで陸上部に入  
部してしまっただけです。入学前  
に世羅高校の練習に参加させて  
いただきましたが、初日で「し  
まった!」と、後悔というかと  
んでもないところに入ってしまった  
のを今でも鮮明に覚えています。  
今や世羅高校陸上部の強さの秘  
訣とも言われるクロススカント  
リーコースを初めて走った時は、  
「ここは果たして人間が走るとこ  
ろなのか。」とカルチャーショッ  
クを受けました。  
なかなか練習もこなすことが

できず、そうなることやはり楽な  
方へと思いは向くわけで、つい  
に父親に「退部したい。」と伝え  
ました。当時私の父は世羅高校  
で教員をしており、自ら伝統あ  
る陸上部へ入部したにもかかわ  
らず簡単に投げ出す私の態度に  
厳しく叱咤され、また「競技が  
できないのであれば、マネー  
ジャーという選択肢もあるだろ  
う。続けることが大切だ。」と激  
励されたことを今でもしっかり  
と覚えています。

そんな出来事もあり、私はマ  
ネージャーとしてチームに係る  
こととなりましたが、一年時も  
二年時も、県大会で優勝するこ  
とができず、都大路に進むこと  
はできませんでした。今思えば、  
本当に選手の気持ちになつて  
チームのサポートが出来ていた  
のか、後悔の念しかありません。  
三年時には私自身も競技に参加  
するようになり、選手とマネー  
ジャーの両輪でチームに係るよ  
うになりましたが、残念ながら  
三年連続で都大路への道は絶た  
れてしまいました。  
指導して下さる先生方、いつ  
も支えてくださった保護者の  
方々、低迷中でも変わらず応援  
し続けてくださった地域の皆さ  
まに本当に申し訳ない、「伝統」  
の重みを心底感じた瞬間でした。  
卒業後、十三年間町外で働き暮  
らしてきましたが、縁あって八

感性が光るアートな写真  
残しておきたい思い出の写真

アート写真光房  
**阿部写真館**

世羅町本郷  
TEL:0847  
22-0213

http://www.cameraman-abe.com/  
Eメール:photoabe@orange.ocn.ne.jp

出光興産株式会社販売店  
**芸備燃料株式会社**

代表取締役 坂 東 辰 男

■ 本社	☎ (0847) 22-2121
■ セルフステーション世羅ハイパス	☎ (0847) 22-1151
■ セルフステーション三原中之町	☎ (0848) 63-6677
■ セルフステーション東尾道	☎ (0848) 56-1668
■ 宮浦SS	☎ (0848) 67-7111
■ 吉舎SS	☎ (0824) 43-2272
■ 世羅油槽所	☎ (0847) 22-1136
□ 株式会社やっさ石油	☎ (0848) 63-8216
□ 宮浦SS	☎ (0848) 63-7733
□ 沼田東SS	☎ (0848) 66-2727

「観光」という未経験な分野への挑戦でしたが、「駅伝のまち世羅」の知名度と、「走る」というコンテツを武器に、新たなツリズムの確立をめざし、また育てていただいた世羅町に少しでも恩返しができるよう尽力していきたいと思っています。

### 支部だより

#### 東京校友会



会長 吉宮 孝治  
(昭和42年卒)



東京校友会の主な活動は、年二回の会報発行、親睦会及び十一月の総会となっております。

今年に入って、先ず一月八日には、十一名の参加を得て池袋の南側にある「雑司ヶ谷七福神めぐり」を行い、一年の福運を祈りました。

四月二日には、「新宿御苑」において観桜会を催し、大島桜、染井吉野、陽光などが咲き乱れる中を散策。参加者十一名がその美しさに心を奪われ、楽しいひとときを過ごしました。(東京)

校友会のホームページを参照願います)

会報「とうきょう世羅」は、四月に第四十四号を全会員に宛てて発送し、現在、十月一日に発行する次号に向けて鋭意編成中です。

総会は、十一月十九日(日)正午から、堀校長先生、松浦同窓会会長など多くのご来賓をお迎えして開催する予定です。



世羅高等学校東京校友会

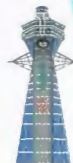
2016.11.20

陸上競技部への応援賛助金では、毎年多くの会員から浄財が寄せられております。今年も引き続き募集しており、十二月の西京極陸上競技場での活躍を、会員一同たのしみしております。

東京校友会では、近年、総会

などへの参加が漸減し、特に若い世代の参加者が少なくなってきたり、将来に向けての取り組みが喫緊の課題となっております。そこで本年、「持続可能で魅力ある校友会」を実現するためのプロジェクトチームを設置して、検討を続けております。

### 近畿同窓会



#### 事務局長 釣井 良明

(昭和42年卒)

世羅高等学校近畿同窓会は、先輩方も高齢になられ、昭和四十年代卒以降の会員の参加率が低迷し、衰退の一途を辿っているのが現状です。

平成二十、二十一年の頃は、参加者もそれなりに人数の参加を得、活気がありました。

現在、会長は八十六歳、副会長も七十歳半ば、幹事長も八十歳を越え、殆んど役員・幹事が高齢化を迎え七十歳を越えた状況です。唯一若いのが六十歳後半という、母校に対しての同窓会活動運営(地域貢献)、並びに応援・支援が今後も維持運営出来るかどうか懸念を持っています。

会員の方々の中には、高齢化・足腰体調不良等で退会を希望される方が出ております。

今現在、約四百名の会員がお

られますが、会費(年会費二千円)を戴けるのは、その中で約三分の一ぐらいに留まっています。

例年の総会には、ありがたいことに来賓として学校長をはじめ町長、世羅同窓会の代表者の方々に列席して戴き、感謝しております。私たちはそれに応えなくてはなりません。平成29年度は、六月十一日に総会を開きました。過去最低の参加者(総勢:18名)となりました。……

将来の展望を憂っています。

今とはとにかく、数多くの若い方々の参加を願って、活気ある近畿同窓会を目指しております。

近畿・関西に在住されている、青年の方、壮年の方、参加をお待ちしております。



広島県立世羅高等学校近畿同窓会総会



いつでも電話でお気軽に  
総合建設業

## (有)坂上建設

TEL 23-0231(代)  
世羅町宇津戸3453-1 FAX 23-0232  
夜間 23-0511

トヨタ車のことなら 指定民間車検場 スズキサービス指定工場  
トヨタサービス指定工場 ボディーフレーム修正工場

**アヲタニ・オート(株)**  
TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

TOCHU GROUP スズキ専門店  
**スズキオートSHOP**  
TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977



① 進路指導部



① 進路指導部  
昨年度(平成二十八年)卒業生の最終的な進路は、四年制大学五十五名、短期大学八名、専門学校三十五名(看護・医療系を含む)、就職は十五名でした。国公立大学の合格者はのべ八名、青山学院大学などの難関私立大学へはのべ六名が合格しました。これは普通科生徒のおよそ五人に一人が国公立大学もしくは難関私立大学へ合格したことになります。

就職に関しては、希望者全員が就職を決めることができませんでした。特筆すべきことに、急な進路変更によって十二月の末に就職を希望した生徒も、一月には就職を決めることができました。これには、二つの面からの良い成果の表れではないかと考えます。一つ目は企業からの世羅高生に対する評価が年々向上していることです。世羅高生なら安心して採用できるという期待感や安心感が年々大きくなってきているということ、本校就職支援員の先生が地元の企業を訪ねて実感する場面が多々あることを述べています。二つ目は

本校の生徒指導と就職指導の一体化による成果です。生徒へは入学時から世羅高生は、いつでも就職試験に臨むことができる態度で学校生活を送るように教職員は支援しています。また就職を希望する生徒については、就職に関する会議を毎週行うことで、担任と就職支援員、進路指導部就職担当者やその他の関係者と、就職に関する情報の共有化が行われています。このことは広島県教育委員会からも高く評価され、昨年度は県内高等学校の進路指導主任が集まる就職促進会議でその取組を発表する機会を与えられるほどでした。近年は国公立大学だけでなく、多くの私立大学もセンター試験を利用した入試を行っており、全国で五十七万人超がセンター試験を受験しています。昨年度は本校からも三十五名が受験しました。生徒たちは五月から始まった放課後補習や夏期講習、夏期世羅塾等に積極的に参加し、最後までよく頑張りました。卒業式が終わった後の国公立大学入試後日程(三月十二日)まで粘って頑張り、合格を勝ち取った生徒も多くいます。

今年度も、昨年度までと同様、放課後補習や長期休業中の補習、世羅塾など学力を高める取組を行ってまいります。さらに、世羅町から様々な支援をしていた

大きく決まり、学力向上事業として休日を利用し、有名予備校の講師に講座を開いていただく予定となっております。希望の進路100%実現を目指し、これからも努力を続けてまいります。今後も御指導、御鞭撻をよろしくお願いいたします。

② 第67回(男子)第28回(女子) 全国高校駅伝大会報告

【男女入賞男子7位女子8位】

男子は、昨年の第67回大会で7位入賞の結果となりました。偉大な先輩方が達成した大会2連覇を超える大会3連覇という大きな目標を目指して、1年間努力を積み重ねてきました。レースを振り返りますと、1区吉田がレース中盤、先頭集団から遅れはじめ、先頭から1分11秒差の19位で襷を繋ぐという波乱の幕開けとなりました。2区長嶺が吉田の遅れを少し取り戻し15位で繋ぎ、3区のグレが区間2位の力走で4位まで順位を押し上げますが、先頭からは1分15秒の差がありました。

4区梶山は1年生ながら主要区間を任せられ他校の選手から離されまいと粘って5位で繋ぎ、5区慎が6位、6区職立が7位、7区前垣内が最後まであきらめずチーム全員の気持ちの詰まった襷をゴールまで運び、2時間5分49秒の7位となりました。女子は、昨年の28回大会で8位入賞の結果となりました。一昨年は初入賞が初優勝と数多くの感動を与えてくれました。次は大会2連覇という大きな目標を掲げ、1年間努力を積み重ねてきました。レースを振り返りますと、1区大西が大会連覇に向け先頭と5秒差の2位と最高のスタートを切りました。2区向井は当初5区を想定していましたが、この一年間調子が上がらずとても苦しいシーズンを過ごし、今大会に向け何とか走れる状態まで調子を戻し3位で繋ぎ、3区ナオミは今大会が初駅伝で緊張してしまい本来の実力が発揮できず13位と後退、4区平村が1年生ながら、臆することなく積



極的にレースを展開し9位に浮上、5区神笠も1年生ながら主要区間を任せられ、落ち着いたレース運びで競技場残り三百メートルで1つ順位を上げ、全

新車 / 中古車販売・車検・修理  
東京海上日動代理店

Kondo Planning Co

有限会社 近藤プランニング  
〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷 635-1  
TEL 0847-25-0303



株式会社 もみの木畳店

世羅郡世羅町小世良380

TEL (0847) 22-1426

FAX 0847-22-1893

http://www.mominoki-tatami.com

員の思いの詰まった標をゴールに運び、1時間9分21秒でチームを入賞の8位まで押し上げる力走を見せました。

今年も数多くの有望な1年生が入部してきました。男女とも優勝旗を世羅の町に持って帰れるよう、上級生ともども今後さらに精進を重ね、感謝の気持ちを忘れず日々の練習や生活などをより充実なものとし、男女とも優勝を目標に一日一日を大切に努力していきたいと思えます。

同窓生の皆様には、後援会への寄付等で大変お世話になっておりますが、今後とも絶大な御支援をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

### ③ ニューヨーク姉妹校との国際交流支援について

「TD校との姉妹校交流」  
—NPO法人世羅国際交流教育ネットワークと地域に支えられて—

世羅高校は平成22年1月にアメリカ合衆国ニューヨーク州にあるソントン・ドノヴァン校(TD校)と姉妹校協定を締結しました。世界平和、地球環境を共通のテーマとして、相互に留学生を派遣し生徒同士が交流を深めることを目的として、平成22年3月から交流を始めました。その交流も相互に8回を数

えています。その活動を支える為、両校の姉妹校締結の目的に加えて日米の国際交流友好親善、国際相互理解の推進、健全な青少年の育成等に関連した事業の円滑な推進等の支援や世羅高校のみならず町内の幼・小・中学校も含め世羅町挙げて地域全体の国際交流の推進に対して支援していくこと等を目標に、平成22年3月、「NPO法人世羅国際交流教育ネットワーク」(会長 上野 悟)が設立されました。地域の有志の方が会員となつてこの国際的な交流活動を支えてくださっています。世羅高校がこの交流を通して、地域全体の国際交流の掛け橋になることを願っております。県内のほとんどの高等学校は姉妹校を持っていますが、毎年相互に生徒の短期留学を続けている学校はなかなかありません。生徒の派遣からTD校が来日した際のホームステイ先へのサポート、小中学校交流への送迎、留学生研修への引率と世羅高校だけでなく、地域の小中学校を含めた交流を支えていただいています。また、地域の企業・農園の方々にも留学生の研修の場を提供していただいております。まさに地域一丸となつた交流となっています。平成29年は、3月に本校の留学生12名がTD校へ15日間短期留学しました。短期留



学に際して生徒たちは、米国大統領選挙の後であったこともあり、「日本(世羅)の高校生と米国(TD校)の高校生の政治に対する意識を比較する」という課題をもつて臨みました。その成果は、4月27日の成果報告会で報告されました。また、6月21日〜7月3日には9名のTD校生徒が、世羅高校を訪れました。世羅高校とともに授業を受けるだけでなく、町内の小・中学校に交流に向き、広島を訪れて平和に関する研修をするなど、有意義な時間を過ごしました。生徒たちはともに異文化を肌で感じ、価値観の違いを受け止め、平和への思いを新たにするなど、人間的にも大きく成長することができました。今後とも、世羅国際交流教育ネットワークの皆様をはじめ、地域の方々の御支援をよろしく願います。

### ④ 世羅高校国際交流推進会議について

世羅高校国際交流推進会議(会長 小島敏文)は、ケニア共和国をはじめとする諸外国との国際交流活動を通じて、教育及びスポーツ、社会教育、文化活動等の相互交流を推進し、世羅台地を中心とする地域の活性化を目的に結成され、以来十五年間、ケニア共和国からの留学生の受け入れ、台湾「大同高級中学」との交流を進めてきました。おかげさまで推進会議の活動も円滑に進み、着実にその成果も現れています。

大同高級中学との交流は、第2学年の修学旅行での訪問と、毎年春に大同高級中学からの訪問という形で、相互に行っています。今年は4月10日の満開の桜の中、32名の生徒と2名の引率教員が世羅高校を訪ねてくれました。また、ケニア人留学生は、今年度は2名が在学します。彼らは陸上競技に対して、熱い情熱を持ち、生活・文化の違い日本で真面目に頑張っています。その真摯な姿勢に、日本人選手が受ける影響も大きく彼らと練習を共にすることで、競技力・人間性が向上しているものと思えます。彼らの日本での生活費はこの推進会議の会費から捻出されています。同窓会の皆

様方には、全国大会出場時の寄付等でも御支援いただいております。誠に恐縮ではありますが、この推進会議の趣旨を御理解いただき、御支援、御協力のほどよろしくお願いたします。

### 編集後記

暑中お見舞い  
申し上げます。

多くの皆様のご協力を得て「会報第19号」をお届けできますことを広報委員一同大変喜んでおります。心からお礼申し上げます。

母校は今年創立百二十一年目となります。益々の発展と皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。  
(広報委員会)

### 原稿募集

クラス会・同期会報告、近況報告、感想等(写真と四〇〇字程度、皆様からのお便りをお待ちしております)。  
送付先は、世羅高校同窓会広報委員会宛です。

